

Dual GAS TRIP METER GTM-01 取扱説明書

12v Fi車専用 精密燃料計

特徴

- 2つの表示モード(A・B)でフューエルインジェクション車両のガソリン使用量を正確かつリアルタイムで表示します。
- ガソリン残量警告(フラッシュタイミング)機能搭載!

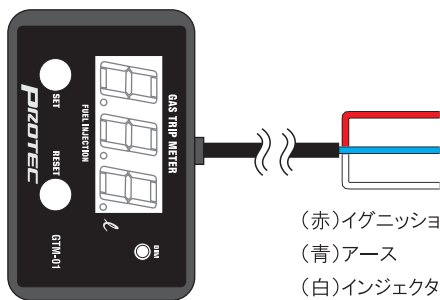
セット内容

- 燃料計本体(GTM-01) x1 ●接続ハーネス x1
- 両面テープ x1 ●エレクトロタップ x3 ●取扱説明書 x1

注意事項

- 本製品は12V仕様のフューエルインジェクション車両専用です。キャブレター車へ装着の場合、別途オプションパーツが必要です。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。また車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- 燃料計本体に強い衝撃を与えたり、配線(コード)を無理に引っ張らないでください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

Step:1 燃料計本体の取り付け



(赤)イグニッションONで12V通電線
(青)アース
(白)インジェクタ信号線

- 配線の接続先は車両メーカー発行のサービスマニュアルをご確認の上行ってください。
- インジェクタ信号線はインジェクタ本体やECU、ECMIにあります。インジェクタ本体には信号線と電源線の2本線が入っています。複数インジェクタがある場合、電源線は同じ色の配線です。
- ※インジェクタ信号線の接続先については裏面を参照ください。
- 複数のインジェクタがある車両の場合、1つのインジェクタ信号線へ接続してください。全てのインジェクタへ接続する必要はありません。
- 各配線へ接続する際は、付属のエレクトロタップを使用します。車体側の配線が細い場合は、エレクトロタップは使用出来ません。その際は配線の被覆を剥いて直接結線し、ビニールテープなどで絶縁処理を行ってください。
直接結線する方法は裏面をご参照ください。
- 燃料計本体は見やすい位置にお取り付けください。
- キーONにすると、工場出荷検査時のデータ数値が表示されます。

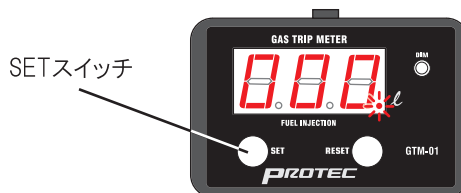
Step:2 燃料消費データ収集

■精度99%以上を確保するために、車両固有の燃料消費データを実走行にてメモリーします。必ずこのデータ登録を行ってください。

- ①ガソリンを満タンにします。
- ②キーをONにして、SETスイッチを1秒以上押します。
- ③000が表示されます。
- ④エンジンを始動すると、1番右下のドットが点滅し、燃料消費データの読み込みを開始します。

※白線がインジェクタ信号線へ正しく接続されていない場合は、ドット点滅しません。その場合、もう一方の配線に接続し直します。

- ⑤走行を開始します。



- ▼燃料消費データ収集中はキーOFFでエンジン停止しても集積されたデータが本体にメモリーされています。
- ▼燃料消費データ収集は、ガソリンタンク1個分の燃料を消費する位の走行をお勧めいたします。どの様な走行条件でも構いません。
- ▼表示の数字は約1分で1カウント増加します。最大999カウント(約16時間)までメモリーが可能です。
※999カウント以内にデータ収集を終えてください。

ワンポイントアドバイス!

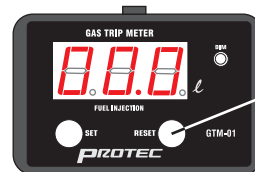
給油は同じ条件になる様に行ってください。
給油口から見て何か目印になる部分を決め油面を見ながら給油するとより正確な設定ができます。

Step:3 消費燃料値の登録

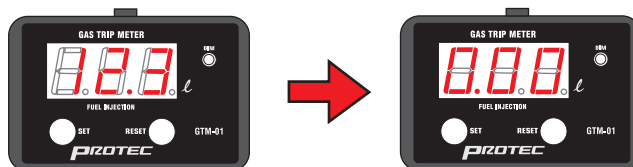
■Step:2で収集した消費データに対して消費したガソリンの量を入力。データ収集時に消費したガソリンの総量を分かる様にしてください。

- ①キーをONにして、RESETスイッチを3回押します。
- ②00.0が表示されたらすぐにRESETスイッチを長押し、消費したガソリンの量を入力します。
※RESETスイッチを長押しすると数値が上がります。更に押し続けると数値の上がる速さが増します。行き過ぎた時はSETスイッチを押して数値を下げます。

※RESET=数値が増える SET=数値が減る



- ③入力したい数値が表示された後、スイッチを放すと数秒後に表示が0.00に切り替わって自動的に登録が完了します。



※誤った数値が登録された時は、①からやり直してください。
※この場合②では③で登録された数値が表示されます。

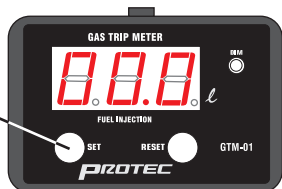
Step:4 フラッシュタイミングの登録

■表示数値が任意(10.1L以上)で登録した数値に達すると、表示が点滅します。この機能が**フラッシュタイミング**です。機能説明については裏面をご覧ください。

※この機能が不要な場合は以下の②の操作で 00.0を入力します。

①キーをONにして、SETスイッチを3回押します。

SETスイッチ
3回押す



※SETスイッチを3回押した時に、表示される数値は当社で出荷前検品時に入力された数値が出ます。

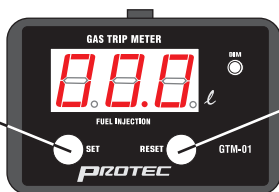
②**すぐにRESETスイッチを長押し**して任意の数値(10.1以上)を入力します。 ※10L以下で登録しても機能しません。

※RESETスイッチを長押しすると数値が上がります。

更に押し続けると数値の上がる速さが増します。

行き過ぎた時はSETスイッチを押して数値を下げます。

SET長押し
数値が減る



RESET長押し
数値が増える

③入力したい数値が表示された後、スイッチを放すと2秒後に表示が点滅して自動的に登録が完了します。

※誤って違う数値が登録されてしまった場合は、STEP:4の①からやり直してください。

※この場合②では③で登録された数値が表示されます。

※フラッシュタイミングの登録は何度でも書きが可能です。

※この機能をキャンセルする場合は、00.0を入力します。

Step:5 使用開始

■Step:2~4の設定が終了して初めて燃料計として機能します。
【満タン給油を行った際は毎回この操作を行います】

①ガソリンを満タンにします。

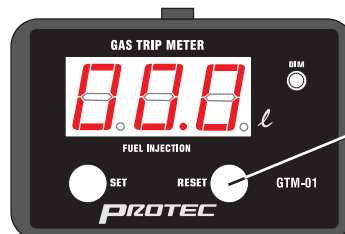
②キーONにし、A・B両モードで RESETスイッチを長押しします。

※Bモードの時は一番右下のドットが点滅または点灯します。

モード切替はSETとRESETスイッチを同時に押します。

③0.00が表示されます。

※エンジンが掛かっていない時、表示は点滅します。



RESETスイッチ
長押し

※その他操作方法や、表示については裏面をご覧ください。

【誤差について】

燃料計の消費数値と、実際の燃料消費を比較して誤差が生じた場合、給油方法が原因として考えられます。

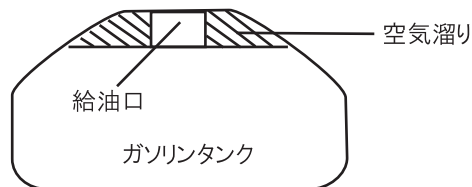
その場合はもう一度Step:2から登録し直してください。

給油方法は常に一定した方法で行う必要があります。

以下の図の様な給油口がエアブレンタイプの場合のタンク形状の

車両では斜線で示した部分に空気溜りがあります。この部分への

給油量の違いが誤差として現れますのでご注意ください。



車両メーカー別 インジェクタ信号線 一覧

	ホンダ	ヤマハ	スズキ	カワサキ	ハーレー
インジェクタ信号線	ピンク系	黒ラインの入った線	グレー系	ブルー系	白/黄 緑/灰

※上の表はおおよその情報です。
異なる車種もございますのでサービスマニュアルの配線図を参考にして下さい。

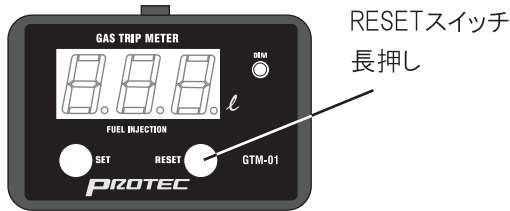
- ・ NC700X：インジェクタまたはECUの桃/白
- ・ WR250R/X：インジェクタまたはECUの赤/黒
- ・ FZ-1：インジェクタまたはECMの橙/黒
- ・ Ninja250R/400R：インジェクタまたはECUの青/赤、青/緑
- ・ Ninja1000：インジェクタまたはECUの青/白
- ・ ZRX1200DAEG：インジェクタまたはECUの青/赤、青/緑

直接結線する方法（赤、青、白の配線）

- ① 車体側ハーネスの配線の被覆を剥く
↑ DG-329のコード
- ② 配線を絡ませる
※ハンダ付けをすると確実に結線できます
- ③ 絶縁のためビニールテープを巻く

操作方法

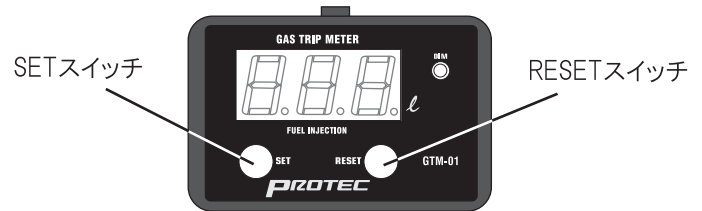
リセットの方法



【満タン給油を行った際は毎回この操作を行います】

- A、B両モード共にRESETスイッチを1秒以上押します。
0.00が表示されます。
- ※ A・B両モードのリセットは、どのタイミングでも何度でも出来ます。
- ※ リセット操作はキーONの状態で行います。
(エンジン停止またはエンジン始動のいずれでも操作出来ます。)

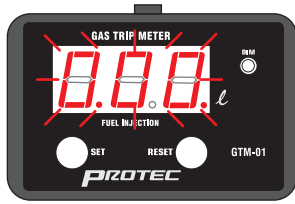
モード切替の方法



- Aモード ⇄ Bモードの表示切り替えは、SETスイッチとRESETスイッチを同時に押します。
- ※ AモードからBモードに表示を切替えてもAモードは継続されておりまたその逆も同様です。
- ※ 表示モードの切り替え操作はキーONの状態で行います。
(エンジン停止またはエンジン始動のいずれでも操作出来ます。)

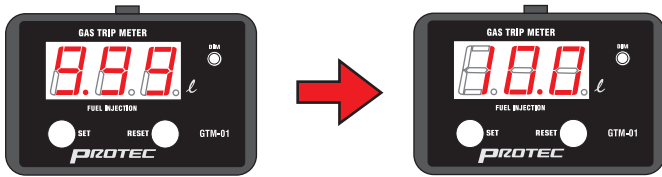
表示について

フラッシュタイミング



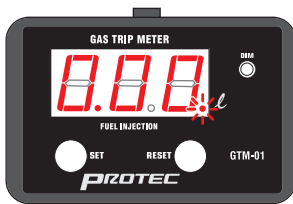
- Aモードの表示数値が任意で登録した数値に達すると、A・B両モードの表示が約2秒間隔で点滅します。この機能が**フラッシュタイミング**です。例として、タンク容量が30リッターの車両で、フラッシュタイミングの設定を25.0で設定した場合、ガソリン残量5リッター以下になったら表示が点滅します。車両のFUEL EMPTYランプ機能と同様にご使用頂けます。**※点滅の間隔は約2秒となっております。****フラッシュタイミングの登録は何度でも上書きが可能です。**

自動切換え



- A・Bモード共に、0.00Lから9.99Lまでは0.01L単位で表示し、10L以上は0.1L単位に表示を自動切替します。

Bモード作動時



- Bモード表示中は、一番右のドットが点滅します。

点滅表示



- インジェクタが燃料噴射をカットした際は表示が点滅します。**※車種によっては燃料噴射カットしないものもあります。**

燃料消費データの修正方法

- 燃料計の消費数値と実際の給油量に差異が生じた場合、±30%の範囲で誤差修正を行うことができます。

燃費が悪い場合、- (マイナス)修正

実際の消費より 燃料計の消費数値が少なかった場合。

燃費が良い場合、+ (プラス)修正

実際の消費より 燃料計の消費数値が多かった場合。

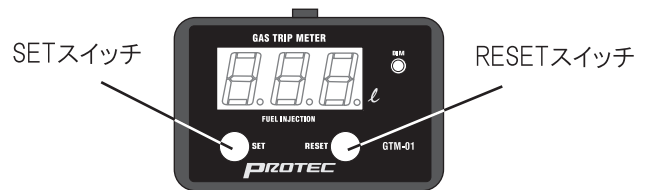
例として、
燃料計の数値上で10ℓに対して、実際の燃料消費量(給油量)が9.6ℓだった場合、実燃費が良いのでプラス側の修正となります。

実際の消費量(給油量) ÷ 燃料計の消費数値 = 修正値

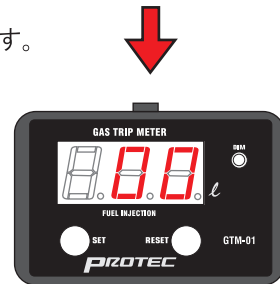
$$9.6 \text{ ℓ} \div 10 \text{ ℓ} = 0.96$$

したがって+ (プラス)4%の修正となります。

- ① SET, RESETスイッチを同時に押しながら、キーONにします。



- ② 00が表示されます。



- ③ RESETまたはSETスイッチを長押しして、誤差のパーセンテージを入力します。(マイナスの場合、画面の1番左の桁に-が表示)

※RESETスイッチ=数値が増える SETスイッチ=数値が減る

- ④ 入力したい数値が表示された後、スイッチを放すと数秒後に表示がAまたはBモード表示に切り替わり登録が完了します。

※誤って登録されてしまった場合は、①からやり直してください。

【誤差について】

燃料計の消費数値と、実際の燃料消費を比較して誤差が生じた場合、給油方法が原因として考えられます。

給油方法は常に一定した方法で行う必要があります。

以下の図のような給油口がエアプレーンタイプのタンク形状の車両では斜線で示した部分に空気溜りがあります。この部分への給油量の違いが誤差として現れますのでご注意ください。

